

SUNSHINE

第47号 2010年 3・4月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発

検索

クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

永徳純一・隆史様

シンフォニア草牟田のオーナー永徳様をご紹介させていただきます。
 永徳様はマンションの管理を親子でされており、ご入居様が日々の生活を快適に過ごせるよう、とても親切・丁寧に対応して下さいます。
 『賃貸事業は、お客様に満足してもらうサービス事業である』とおっしゃっていました。
 私たち社員も見ていて、勉強させられる事がたくさんあります。
 シンフォニア草牟田ができた当初は、不動産会社はもちろんのこと、高校、大学の同窓生や近隣の会社(学校、警察署、病院、銀行、商店など)にもマンションの資料をもって営業で回られたそうです。
 永徳様は以前営業のお仕事をされおられ、そのときの経験を生かし、マンションの入居者募集の営業もやりましたと、明るく話して下さいました。
 今、永徳様は、マンションのエントランス部分に入居者の方の意見箱を設置しようかと、お考えになっているそうです。私が、なぜそこまでするのですか、と伺うと、「“シンフォニア草牟田”に入居して良かったと思われたい、それだけです。これからももっと工夫していきます。」とのお返事!
 そんなオーナー様のお気遣いで、入居者の皆様も安心して暮らせるんだろうな、と感じました。



シンフォニアの語源はギリシャ語で“交響曲”です。

今年も春の移動シーズンが終わりました。

多くのお客様より御紹介を頂き、誠に有難うございました。

この季節になると、懐しい方々より、ご連絡をいただくことも珍しくありません。

子供が大学へ入学するので部屋を探して下さいと、30年振りに再会した同級生もいます。これも私が不動産の仕事に従事しているからだ、非常に感謝しております。

又、春は新入社員の季節でもあります。弊社にも新人が入社しました。受け入れ側としては責任重大です。

会社の方針としては、小手先の仕事を覚えるよりもまず、会社の方針や考え方を理解してもらい、社会で生きていくうえで共通の価値感を持ってもらうことが大切です。

重要なことは『知識や技術よりも仕事に対する心がまえが大切』であり、社会人としてどのように生きていくかしっかり『覚悟を決める事』が必要だと考えてます。

なかなか一朝一夕には培われないかもしれませんが、会社としてもねばり強く常に新人へ声をかけ、休むことなくコミュニケーションを取り続けることを心がけ、少しでも皆様のお役に立てるように育てていければと考えております。会社は、トップの器以上には大きくならないそうです。



もつLABO

弊社がお世話になっている“騎射場”周辺のお店のご紹介!!

莫逆さんの姉妹店「もつLABO」をご紹介します。

「もつLABO」さん一番のおススメメニューは、あっさりスープで、吹上浜の「渚のあま塩」を使用した「塩もつ鍋」!今が旬の春キャベツとニラを、大量に盛り付けし、あっさりとなおかつコクのあるスープで『もつ』を頂くのが、絶品です!!
 3カ月に1回は、社長様自らで、メニューを墨と朱墨で手書きし、お客様の好みや季節により、メニューを変えていくのだそうです。

“鍋=寒い冬に、いただく料理”と思いがちですが、夏場でも、塩ベースや、辛味噌ベースの鍋を目当てに、スタミナをつけられたいお客様が多く来店されるのだそうです。
 もつ鍋一人前が980円(注文は2人前から)!!
 とてもリーズナブルに、旬の料理も楽しめるもつLABOさん☆ぜひ一度足を運ばれてみては?

「もつLABO」さんへ来店されるお客様の6~7割が女性のお客様だそうです。味はもちろん、店内の雰囲気も魅力的です。「鍋を楽しく囲めるように」、「屋台の様に楽しんで食べられる様な」そんなお考えから、ほどこされた店内のテーブルは、すべて円卓で、しかも掘りごたつ仕様になっています。



もつLABO

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目38-18 2F
 電話 (099)259-9611
 営業時間18:00~24:00 定休日 月曜日
 オーダーシステム223.30



和牛ステーキ
 なんて初めて



今月の一冊 夜は短し歩けよ乙女 森見登美彦



「夜は短し歩けよ乙女」は、コミックにも、舞台



これがうわさの「電気ブラン」

「黒髪の乙女」にひそかに想いを寄せる「先輩」は、夜の先斗町に、下鴨神社の古本市に、大学の学園祭に、彼女の姿を追い求めた。けれど先輩の想いに気付かない彼女は、頻発する“偶然の出会い”にも「奇遇ですねえ!」と言うばかり。そんな二人を待ち受けるのは、個性溢れる曲者たちと珍事件の数々だった。山本周五郎賞を受賞し、本屋大

1979年、奈良県生まれ。京都大学農学部卒、同大学院農学研究修士課程修了。2003年『太陽の塔』で日本ファンタジー・ハル大賞を受賞しデビュー。07年『夜は短し歩けよ乙女』で山本周五郎賞を受賞。同作品は、本屋大賞2位にも選ばれる。他の著書に『きつねのはなし』『新釈!走れメロス』『有頂天家族』『美女と竹林』がある。

正月帰省した息子がリビングに入るなり叫びました。「本物の“電気ブラン”がある!」...それは、主人が年末東京出張に行った際、浅草の“神谷バー”で買って来たリキュール酒“電気ブラン”でした。

なぜこんな話から始めたかと言いますと、今回ご紹介する『夜は短し歩けよ乙女』に“偽電気ブラン”なる怪しきカテルが登場するからです。いえ“偽電気ブラン”ばかりではありません。森見氏の作品は、虚実入り混じり、どこまでが現実で、どこからが虚構なのか、迷宮に入り込んだかのような感覚に陥ります。彼を紹介した文章には『マジックリアリズムの手法で巧みにアレンジした独特の世界観と文体を持つ』とありますが、将にその通り!この世界に引き込まれると、もう抜け出せない、森見ファンになってしまうのです。そして、もうひとつの特徴が、彼の作品の舞台はすべて京都(『ペンギン・ハイウェイ』以外)しかも、街や通りの名前、お店までもが克明に出て来ます。京都大好き♪の私にとっては、それも大きな魅力です。地図を片手に読んでいるような次第。

また、登場人物が実に個性的。主人公「黒髪の乙女」の天然振りがなんともかわいらしい。周りを取り巻く他の登場人物は強烈な個性を放っていますが、それを意に介さない「黒髪の乙